

科目	構造力学II (Structural Mechanics II)		
担当教員	上中 宏二郎		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-2(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	2～4年生までに学習した構造力学の総括を行うとともに、高次不静定構造物の解法である変位法を学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-2】節点変位の無いラーメンの曲げモーメント図が描ける。		節点変位の無いラーメンの曲げモーメント図を理解しているかを試験により確認する。
2	【A-4-2】節点変位の有るラーメンの曲げモーメント図が描ける。		節点変位の有るラーメンの曲げモーメント図を理解しているかを試験により確認する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85%、小テスト15%として評価する。100点満点中60点以上を合格とする。		
テキスト	プリント		
参考書	崎元達郎：構造力学[下]，森北出版 岡村宏一：構造力学II，鹿島出版会 米田昌弘：構造力学を学ぶ-応用編-，森北出版 彦坂熙，崎山毅，大塚久哲：詳解構造力学演習，共立出版		
関連科目	数学，物理，構造力学(2～4年生で学習した内容)		
履修上の注意事項	講義の始めに2～4年生までに学習した構造力学の小テストを行い，どのくらい理解をしているかを確認します。		

